

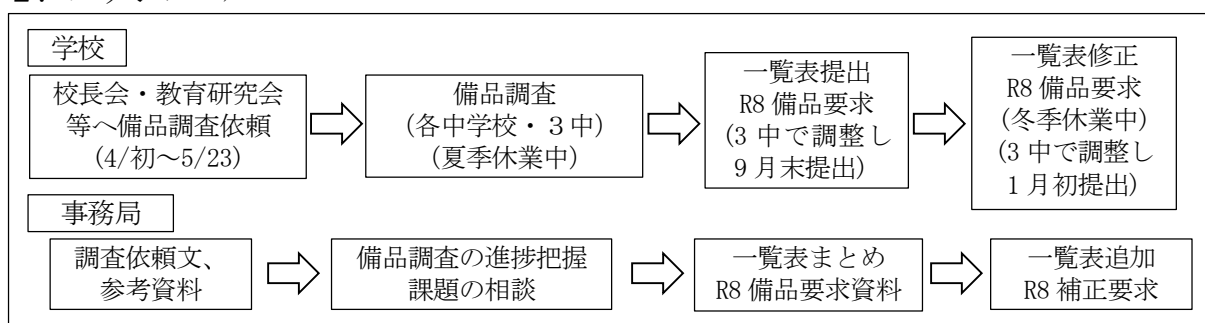
令和7年7月22日

備品精査について（案）

1. 備品精査の基本的な考えと方向性

- ①新中学校へ持っていく備品を精査する。
 - ・各教科の備品を中心に持っていく教材備品をリスト化する。
（国語・書写、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、体育、技術、家庭）
 - ・勝山中部中学校の備品を基準に他の中学校のものと差し替えたりする。
 - ・どうしても新調しなければいけない備品は別途リストアップする。
 - ・音楽、美術、家庭、体育については勝山高校とも相談しながら進める。
 - ・各領域の備品についても同様に精査するが相談しながら進める。
（視聴覚、保健安全、特別支援、道徳、特活、給食、事務）
 - ・庁用備品（職員室、校長室）については相談しながら精査を進める。
- ②図書の本を精査する。
 - ・現在各中学校にある蔵書の半分を目途に廃棄する本を選定する。
（中部：11487冊、南部：12080冊、北部11149冊→半分以上を廃棄）
 - ・勝山市立図書館、勝山高校とも連携をしながら作業を進める。
- ③PTA、寄贈、卒業記念品、その他（清掃、施設員関係等）の備品を精査する。
 - ・校長会、教頭会、事務部会と相談しながら行う。
 - ・歴史的なものについては専門の方と相談する。
- ④部活動備品は地域移行も注視し、部活動担当（勝高・3中）と協議を進める。
- ⑤その他：特別教室棟に関しては県教委とも連携して作業を進める。

2. スケジュール



3. 留意点

- ・今年度は各教科、各領域の備品精査、図書の本の精査を中心に実施し、寄贈や卒業記念品等は協議をしながら進める。
- ・新中学校校舎の備品については学校現場の意見も聞きながら準備を進める。
- ・備品の運搬方法や運搬時期など予算を含めて今年度中に計画を立案する。